

平成22年1月25日

会 員 各 位

関西大学科学技術振興会  
会 長 隅 谷 哲 三  
関西大学先端科学技術推進機構  
機構長 石 川 正 司

## 平成21年度 第8回 研究会の開催について（ご案内）

拝啓 ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は、本会の運営、事業の遂行に際しまして、何かとご高配を賜り厚くお礼を申し上げます。

今年度の研究会は、「企業側から、独自のものづくりを展開されている個性豊かな経営者からの講演、および大学側から、社会の課題実現につなぐ先行的な研究について研究員からの講演」の企画に設定しております。

つきましては、第8回研究会を下記のとおり開催致したく、是非ご出席賜りますようご案内申し上げます。なお、ご登録の会員に限らず、ご興味のある社員の方々のご参加をお待ちしております。

**ご出欠の有無を**、同封の「FAX送付状」またはE-mail（アドレス：[sentan@ml.kandai.jp](mailto:sentan@ml.kandai.jp)）にて、**2月22日（月）まで**にご連絡願います。※メールアドレスが変更になりました。

敬 具

記

日 時 平成22年 **2月27日（土）14：00～**  
場 所 **第4学舎3号館 4階3403教室** <裏面地図参照>  
**研究会**

今年度における最終の開催となる研究会プログラムは、学外で受賞等の学生による研究発表の計画を変更し、昨年11月に日本工学会フェローの選任を受けられた、北嶋弘一先生から記念の講演を中心とした研究会です。

各講演・約50分、質疑応答・意見交換約10分。

### 1. 「**微細バリ処理-高品質、低コスト完全バリ取り-**」 **有限会社 大阪製作所 代表取締役社長 後藤 良一 氏**

切削加工とバリ処理は、切っても切り離せない問題です。しかし、実際にはエッジ品質は図面で表すことも難しく単に「バリ無きこと」の指示で終わってしまうことが多い。微細バリ取り（マイクロデバーリング）処理は、精密機械部品のニーズから開発した技術です。

### 2. 「**機械加工の高精度化・高能率化-バリ処理・エッジ仕上げ技術を中心に-**」 **関西大学システム理工学部 教授 北嶋 弘一 氏**

製品のコンパクト・軽量、緻密・高機能、高品質に対する志向に伴い、製品に組み込まれる部品も微細・複雑形状化しつつ高精度化への要求が強くなり、生産・製造現場において高精度化、マイクロ化などに対応する加工技術が求められています。

### 3. **最近の産学連携の事例から** 先端機構コーディネーター 田中久仁雄

### 4. **科学技術振興会の活動報告** 先端機構グループ 本多 忠男

**交流会**（研究会終了後、開催） <場所>100周年記念会館 「桃源」

**交流会にご参加の場合**は、研究会の当日、受付にて**2,000円**をお支払い下さいますようお願い致します。

以 上

<講演会・研究会・セミナー等のご案内>

○関西大学・大阪医科大学・大阪薬科大学 三大学医工薬連環科学シンポジウム（第2回）

併催 大阪医科大学・関西大学 医工連携シンポジウム（第5回）

H22.1.28（木）14：30～17：00 関西大学100周年記念会館

○関西大学 技術交流セミナー 「材料機能を向上させる表面改質技術～課題と展望、ものづくりのイノベーション」

H22.2.19（金）13：30～17：00 大田区産業プラザ 講師；社会連携部顧問 池永 勝氏、他

○関西大学 特別公開講座 大同生命保険㈱寄付講座 「関西中小企業の活性化と経営革新セミナー」

H22.2.27（土）、3.13（土） 関西大学第3学舎（社会学部）4401教室